

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	-	-	-	-
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・1～2月は免税売上の前年割れで先行き不安と思われたが、今は辛うじて前年超えとなり、懸念していた事案がやや解消されている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年比で伸びており、売上が好調である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・例年、学生対象の販売が増加する時期だが、今年は前年を上回る結果が出ている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場組数が前月比25%増、前年同月比では12%増と、増えている。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・前年6月の競合店の新規出店から、ほぼ同率で客数の減少が続いている。5月までは続く予想できる。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・レンタカー会社の春休み向けの登録、及びゴールデンウィーク、夏休み需要に向けての受注が好調である。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・3か月前と同様に客室稼働率が前年同月実績を下回っている。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・販売量、取扱高も前年並みではあるが、なぜか若干落ちてきているように感じてしまう。
		通信会社（サービス担当）	単価の動き	・携帯電話も飽和状態にあり、他社からの切替えに力を入れる。
		住宅販売会社（代表取締役）	お客様の様子	・10月の消費税増税前の駆け込み契約が増えている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・商店街では飲食店が増えつつあるが、低価格競争をしているので大変厳しいとの話を聞いている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・3月は寒い日や天候の悪い日が多かったため、客足も鈍く売上に影響している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・3月は歓送迎会でかなり売上の上がる月で、入客はトータルではほぼ前年並みではあるが、単価が若干下がっている。また、客の動きが例年と違い、週末でも全く入客が取れないことがある。またドタキャンが例年の倍に増えており、対応に苦慮している。
	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・前年よりも客室稼働率が低下している。沖縄全体としては入域観光客数は伸びているが、そのペース以上に宿泊施設数が伸びて競争が激化している。情報共有しているホテル30社のうち半数は、稼働率が前年よりも下がっている。	
	x	-	-	-
企業 動向 関連  (沖縄)		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量や、受注価格とも単月では過去最高に迫る。
		輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・沖縄県内の消費としては増えており、新規店舗の参入も続いている。また那覇空港国際線連結ターミナルの影響もあるのか、一時的に消費は増えていると感じられる。一方で新規参入店舗に押される影響で既存店舗への影響があるとも感じられ、店舗を閉めるところもみられる。以上から総合的に、やや良くなっていると判断している。
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・景気は良さそうに見えるが、米国と中国の経済減速のニュースや英国のEU離脱問題など心理的な部分で消費行動に慎重になっているのではないかと。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・観光客の人数は多いが、購買力の動きは強くない。
		*	*	*
	x	-	-	-
雇用 関連  (沖縄)		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・3月の週平均件数は946件である。12月の週平均件数773件と比較するとプラス173件と大きく増加している。5回発行のうち、1回は浦添市にオープン予定の大型施設の求人81件を含む。
		-	-	-
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数は引き続き多い。

	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・業種によるが、創業、起業と廃業が同じように増えている。従来より廃業までの判断が早く、市場サービス、市場ニーズの変化の速さがうかがえる。
	-	-	-
x	-	-	-